

令和元年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1493100471	事業の開始年月日	平成30年6月1日
		指定年月日	平成30年6月1日
法人名	有限会社 フルライフ		
事業所名	グループホーム フリージア		
所在地	(〒234 -0056) 神奈川県横浜市港南区野庭町671-10		
サービス種別 定員等	認知症対応型共同生活介護	定員計	18名
		ユニット数	2ユニット
自己評価作成日	令和2年3月10日	評価結果 市町村受理日	令和2年4月22日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

フリージアでは、入居者様の出来る事や、やりたい事を普段の生活の中から見極め、見つけ出せるように努めています。フルライフの基本方針でもある、ヒューマンイズムの精神で常に寄り添い、その方の尊厳を尊重し、その人らしい人生が送れる様に心のふれあいを大切にしています。毎月行われるお誕生日会は、誕生月の方のご家族をお呼びして、手作りケーキやダンス、歌、ゲーム等で大変盛り上がります。フラダンス、リトミックのボランティアの方々にも来所して頂き、皆で体を動かす楽しさを思い出しています。施設にいますと、どうしても運動不足になりがちで、運動不足になると、便秘や肥満、下肢筋力の衰え等、あまり体に良いことはありません。そこで、日頃の運動不足解消の為に少しでも簡単に身体を動かす、フラダンスやリトミックと言ったリズム体操を取り入れ、いつまでも元気で楽しい毎日を送れるようにサービスの提供をしています。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部		
所在地	神奈川県横浜市西区南浅間町8-22-207		
訪問調査日	令和2年3月30日	評価機関 評価決定日	令和2年4月9日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

【事業所の優れている点】
◇地域に同化した施設の存在
・利用者の大半が近隣出身者であり、事業所は地域で知られた存在である。利用者は地域ケアプラザの催し物や地域のお祭りなどに参加し、馴染の美容院に出かけている方もいる。地域からは、入居の相談や入居者の紹介などの情報を得ている。
◇利用者の好みを献立に反映
・食事は、同フロア1階併設の小規模多機能施設の調理師が調理し提供している。「献立希望箱」が各フロアに置かれており、利用者は食べたいメニューをリクエストできる仕組みとなっている。文字を書くのが困難な利用者には、職員が口頭で聞いたものを箱に入れている。
【事業所が工夫している点】
◇中堅職員を育てる仕組み
・中堅職員養成のための「年間研修計画」を立案し、講師を迎えて2か月毎に医療・介護に関する勉強会を行っている。看護師から「口腔ケアについて」、薬剤師からは「薬の取り扱いと誤薬の防ぎ方」などを受講した。なお、講師には、法人本部の管理者等の知り合いに依頼している。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1～14	1～7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15～22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23～35	9～13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36～55	14～20
V アウトカム項目	56～68	

事業所名	グループホーム フリージア
ユニット名	2階

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	2F フリージア自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	入居者様とご家族の自己決定を尊重し、入居者様お一人おひとりを、人として尊重し、その尊厳のある生活の継続を支援致します。したい事、やりたい事を制限しない。	・理念の「挑戦」を事務所とリビングに掲示し、毎朝の申し送りで職員全員が唱和している。 ・理念の実践と利用者が自ら身体状況を維持するために可能なこと、職員が利用者のためできることは何かを、常に考えている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	毎月第一金曜日、日限山地域ケアプラザでのパンカフェへ参加しています。地域の催しもの（お祭り等）がある時には数名で参加しています。	・自治会に入会しており、職員は会合に出席し、地域の催し物の情報を得て、可能であれば利用者に参加している。 ・また、職員は利用者とともに、近くのスーパーに買い物に出かけ、近隣の人と挨拶を交わし、交流を図っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症の方との関わり方について、実践を通じ理解や支援の方法を身につけてきているが、地域の人々に向けて何を活かしているのかは、不明である。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	「身体拘束の適正化」について、運営推進会議で取り上げ、参加者様のご意見を伺いました。大変に難しい問題であり、ミトンの使用や、ベット柵による拘束も、家族の同意を得る事が大事。そして、家族や医師との連携を密にして対応致します。	・運営推進会議のメンバーは、家族代表、自治会長、民生委員、ケアプラザ職員、事業所管理者で構成し、2か月毎に開催している。 ・事業所の避難訓練に「地域住民の参加を呼び掛ける」との提案があり、準備をしている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	野庭地域ケアプラザ及び日限山ケアプラザのイベント等に参加し、グループホームの空き情報及びレクレーション等をお伝えしています。	・区役所保護課とは、生保者の更新申請などで連携しており、保護課職員の来訪もある。 ・高齢支援課には、運営推進会議議事録を送付している。地域ケアプラザとは、介護認定手続きや催し物への参加、ボランティアの紹介などで連携している。	

自己評価	外部評価	項目	2F フリージア自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	認知症対応型共同生活介護の提供にあたり、事業者は契約者または他の利用者等の生命または身体を保護するため緊急やむを得ない場合を除き利用者に対し隔離、身体的拘束薬剤投与その他の方法により行動を制限しないケアに取り組んでいます。	・「身体拘束排除のためのマニュアル」があり、ケアマネージャーがフロア会議で拘束にあたる実例を挙げて職員に周知し、また、日常の申し送り時にも注意を喚起している。 ・拘束と安全確保が矛盾することがあり、職員には第一に見守りに徹することを指導している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	野庭ケアホーム、職員研修にて「虐待防止」について学び、職員一人ひとりの意識を高める様心掛けています。また、ご家族との会話等、些細な事からの「気付き」に注意を払っています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	支援までは行きませんが、日常生活自立支援事業や、成年後見制度については、日頃から勉強をしています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	重要事項説明書、及び契約事項については、ご理解を頂くまで説明し、納得頂き契約の締結を結んでおります。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご利用者様のご家族が来所された時には、近況報告も含め、ご意見やご要望をなるべく伺い、反映する様に努めております。	・利用者家族の面会が頻繁で、その都度意見や要望を伺い、運営に反映している。 ・利用者の通院時に家族の付添が難しい場合は、職員が代行し支援している。	

自己評価	外部評価	項目	2F フリージア自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月のフロア会議の他、入居者様のアセスメント等でも職員の意見を取り入れ、毎日の業務の中でも気が付いた時に随時意見を反映させております。	・管理者は、毎月のフロア会議の折、職員の、意見や要望を聴取している。 ・職員の提案で、食事の際のお盆と箸が同色にて箸が見えにくいとの意見があり、箸の色を変え、また、駐車場出入口の安全確保のため、カーブミラーを設置した事例がある。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	努力や勤務状況は把握いたしております。そしてできる限り向上心を持てる様、職場環境の整備は行っております。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	一人ひとりのケアワーカーとしての力量を見極め、必要な研修、資格の習得が出来るよう努めております。頑張っているな、とこちらが思う職員は自らスキルアップの為の研修を希望して来ます。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	2か月に1回医療及び介護に関する講師を迎え勉強会を行っております。毎回色々な事で新しい発見があります。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご家族の思いやご本人の困りごと、また、これからの意向をお聞きし、その思いに常に耳を傾け「ここで安心して生活することが出来る」と思ってもらえるための関係づくりをしています。		

自己評価	外部評価	項目	2F フリージア自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の思いや意向、そして困りごとを伺い、認知症介護がどんなに大変なものなのか、同調しながら耳を傾けています。そして、入所させる不安を払拭できる様、生活状況をなるべく細かく説明しています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	皆様、不安いっぱいに入所される為、入所時はなるべくベテラン職員が対応する様にしております。ケアマネジャーも含め対応に努めております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者様の意見を尊重し、一日の中の限られた時間の中で、どれだけ相手を思いやる気持ちを持てるか、食事を一緒に取りながら会話をし、どれだけ利用者様を理解する事が出来るのかを常に考え共に過ごしています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族がいつでも来たい時に来られる、一寸の時間だけれど、顔を見て行きたくなる様な、一緒に支え合う関係になれば良いな、と思っております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	連絡が来たり、連絡を取りたいと仰る方には支援をさせて頂いておりますが、施設側から積極的な支援は致していません。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者には、近隣出身者が多く、従来の美容院に通っている利用者が数名いる。 ・家族からの電話を取り次いだり、孫からの年賀状は居室に掲示するなど支援している。 ・家族とファミリーレストラン、墓参、温泉旅行をする方もいる。 	

自己評価	外部評価	項目	2F フリージア自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	殆どの方が、一日中フロアで皆様と一緒に過ごされる為、職員が一番気の使うところです。座る位置等、体調の変化にも気を配り、皆様が安心して暮らせる様に努めております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他の施設に移られた方等、面会へ伺ったり、ご家族にご様子を伺うお電話を差し上げております。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとりの希望や意向を把握する為に、その方との会話を心掛け、寄り添う気持ちで、職員間で知り得た事を共有する様に努めています。	・利用者のアセスメントファイルからその人の生き立ちを理解し、本人の喜びや悲しみの感情の由来を理解することに努めている。 ・日々の申し送りやカンファレンスで、利用者の思いや意向について話し合い情報を共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでの暮らしの把握が出来ないと、より良いサービスの提供は出来ないのではないかと思います。まずはその方を知るところから始まりますので、個人ファイルにある入所前の聞き取りを熟読しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの状態を把握する為、職員間の申し送り及び、記録を行っております。皆でレクリエーションが好きな方。ゆっくりとテレビを観たい方。人それぞれですので、その方に合った一日の過ごし方を把握出来る様に努めております。		

自己評価	外部評価	項目	2F フリージア自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員間でのアセスメントは行っておりますが、ご家族、その他の関係者とのカンファレンスは中々行う事が出来ず、その都度意見を収集し、ケアマネジャーに報告している次第です。	・ケアカンファレンスでアセスメントシートと実践記録表（モニタリングシート）を参考にして介護計画を作成している。家族意見は面会時に聞き取っている。 ・ケアプランを6か月ごとに見直し、途中に変化があれば随時見直し、家族の了解を得ている。	・実践記録表に、利用者の長期・短期目標項目について結果を毎月記録し、目標の妥当性、効果の有無等をケアカンファレンスで吟味することが期待されます。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別に日々の記録を取っています。バイタル数値、食事摂取量、排泄等、職員間で情報を共有し、介護計画に活かしております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	18名それぞれの人生を歩んで来られ、生き方も考え方も多種多様です。少しでもそれぞれのご希望に沿ったサービス提供が出来る様に努めて参りたいと思います。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	歩行の安定している方には近所へのお買い物を楽しんで頂いています。ご自分でお金を支払って頂き、お買い物の楽しさを思い出して頂ければと思っています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	契約時に施設の推奨する医師とお話をして頂き、ご納得の上で訪問診療が開始となります。その後2週間毎の訪問、カンファレンスと行い適切な医療を受けられるように支援しております。	・利用者全員が事業所の協力医をかかりつけ医としている。 ・内科医による隔週の訪問診療、歯科医による毎週の訪問診療がある。同法人の小規模多機能施設の看護師が週1～2回巡回している。協力医との24時間連携体制がある。	

自己評価	外部評価	項目	2F フリージア自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	2か月に1回医療及び介護に関する講師を迎え勉強会を行っております。毎回色々な事で新しい発見があります。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	身寄りのない方、生活保護の方を含め、入退院時の医療機関との連携は全て行っております。入院時にはお薬を病院へ持参し、退院時にはどの様な服用方法で戻ってきたのか、薬局との連携も図っております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に看取りについてのご意見を伺う事になりました。入所される時にご家族様は「終の棲家」と考え入所される方が殆どです。今は救急搬送する時に延命措置をするかしないか救急隊員から職員に聞かれます。その状況をご家族に説明し方針を共有していきます。	・入居時に「介護施設における看取りに関する基本的指針」を家族、本人に説明し同意を得ている。 ・終末期の段階では方針について協力医と家族が話し合い、同意を得て適切に対応している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	容態急変や事故発生時に備えて、救急時の対応マニュアルを作成している。入居者様の保険証情報、連絡先及び既往歴等を記した救急対応用個人記録も作成してあります。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署や業者の協力により、避難訓練を実施している。事業所内では月1回のペースで行っていきたくと考えています。	・利用者が参加して、夜間対応を含め年2回避難訓練を行っている。訓練では消防署員のアドバイスを、消火訓練も実施している。 ・併設小規模多機能事業所と共同で食料、水を1週間分備蓄し、防災グッズを含めリスト管理している。	

自己評価	外部評価	項 目	2F フリージア自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員はその人その人の人格を尊重しながら言葉かけや会話を行っている。馴れ合いの言葉使いには注意をする様にしている。誇りやプライバシーの確保は居室が一人部屋の為出来ていると思います。	・「プライバシーポリシーマニュアル」をベースに、接遇マナーについて職員研修をしている。 ・管理者は、職員の利用者への言葉かけや対応等で不適切な内容がある場合は、その場で注意し、朝礼の際にも注意を喚起している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の生活の中で自分の思いをお話出来る環境づくりをしている。隣に座ってスキンシップ等、何気ない事だが、自分が必要とされている実感が希望に繋がると思っています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入浴の曜日や時間等、職員側だけの都合ではないですが、他の入居者様との兼ね合いを考慮するが故に、その方の希望に添えない事も多々あるのは事実ですが安全を第一に考えたいと思います。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	月に一度訪問理美容をお願いします。カットのみならず、ヘアカラーのご希望にもお答えしています。外出時にはお好みのお洋服をきてお出掛けになられていらっしゃいます。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	厨房の方から「献立希望箱」を各フロアに設置し、皆様食べたいメニューをリクエストしていらっしゃいます。食後の後片付けも出来る方に限られてしまいますが、毎日お手伝いをお願いし、それが毎日の日課となっています。	・食事は同法人併設の小規模多機能施設の調理師が調理したものを提供している。 ・利用者が下膳に参加している。 ・おせち、ちらし寿司、千巻、クリスマスケーキなどの行事食を提供している。	

自己評価	外部評価	項目	2F フリージア自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の食事摂取量や水分補給量、補給時間をお一人おひとり記録しています。栄養バランスも厨房のメニュー作成時に計算をし、その方に応じた食事形態（お粥、刻み、とろみ等）を提供しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	お食事後は必ず口腔ケアを実施しています。義歯の方は義歯を外し、ご自分で出来る方はご自分で、出来ない方は職員が義歯のお手入れをしています。嚥下機能向上及び肺炎防止の為に口腔ケアはとても大切なケアだと思っています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	お一人おひとりへの排泄のお声掛けを記録用紙を元に行っており、排泄の訴えは無くとも、そわそわ歩き出す様子が排泄のサインと言う方もいらっしゃいます。車椅子の方も立位の取れる方は便座に座って頂き、なるべくオムツを汚さない様にお声掛けをしています。	<ul style="list-style-type: none"> ・布パンの使用者が数名おり、他はリハパンを使用している。 ・排泄チェック表を活用して、適切なタイミングにトイレ誘導をし、自立に向けて支援している。 	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	一番の便秘の原因は運動不足と考え、日中出来る限り体を動かしてもらえる様、ラジオ体操やリズム体操を取り入れ、少しでも運動出来る環境を作っています。食べ物の工夫として、ヨーグルトや繊維質等も取り入れています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	曜日の指定（決まり）はありますが、本人の希望により、決まった日に入浴しなければ、他の日に変更し週に2回はなるべく入浴される様促している次第です。お一人で入られる方は、お背中を流し、お声掛けだけはさせて頂き、タイミングをみて上がって頂きます。	<ul style="list-style-type: none"> ・週2回の入浴を基本とし、時間帯は利用者の希望に沿っている。 ・入浴を拒む利用者には、日時や職員を代えて対応している。 ・柚子湯、菖蒲湯を提供することもある。 	

自己評価	外部評価	項目	2F フリージア自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	睡眠のタイミングは人それぞれです。今までの生活習慣等、他の入居者様と相違される方もいらっしゃいますが、夜は寝なければいけないという固定観念を外し、眠れない方とお話しをする事でその後安心して休まれる方もいらっしゃいます。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	2週間に1度訪問診療のカンファレンスが行われます。一人ひとりの最近の様子、残薬の確認及び報告を職員が行う為、常に入居者様の状態を観察し、把握しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	歌う事が好きな方、ギターを楽しむ方、字を書く事が好きな方、皆様それぞれ今まで楽しんで来た事を施設でも楽しんでいらっしゃいます。お掃除の好きな方はモップをかけたりにされています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	職員の付き添いが出来る時には、ドライブ及びお散歩を行い、ご家族が面会に来られる時には、一緒に外食等、お出掛けされています。	・車いすの利用者を含め、天気がよい日は散歩、ベランダでの外気浴を奨励している。 ・職員が付き添って花見や、パンカフェなどに車で遠出して楽しむ機会を設けている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	入居者様ご本人での金銭管理は現状難しく、月に1度のケアプラザ主催のパンカフェに参加し、パンの購入をご自身ですて頂く事や、近所へのお買い物に同行する支援をしております。		

自己評価	外部評価	項目	2F フリージア自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご自宅へ電話をされたい方には、その支援を、お手紙を受け取られたり、お書きになられたい方にはその様な支援をさせて頂いております。お孫さんのお写真付きはがきや年賀状等もとても楽しみにされています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	職員と入居者様で、季節の行事を手作りで楽しんでいます。1月はお正月のお飾り（鏡餅等）2月は節分（鬼等）3月はひな祭りのお雛様作りといった感じで季節の移り変わりを楽しんでいます。	・共用空間はリビングを含めて明るく清潔であり、トイレの防臭に配慮し、温湿度を適切に維持している。 ・リビングにソファを置き、塗り絵、季節感を感じる作品、行事の写真等を掲示し、居心地よく過ごせるように配慮している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一日の過ごし方は皆様それぞれです。フロアで皆さんと一緒に喋りを楽しまれる方、テレビを観られる方、自室でお一人でゆっくりとテレビを観られる方、ご自分のペースでお過ごし頂いております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所前からご家族の方とお話合いになられ、どのテーブルを持ってこようか、本棚、サイドボード等悩まれている時には一番大切なもの、一番ご自分の生活を思い出せる様なものにしてはいかがですか。とお話しています。	・エアコン、クローゼットは事業所が用意し、利用者は馴染みの机、テレビを持ち込み、家族の写真を飾り、居心地よい居室にしている。 ・利用者も参加して居室の掃除をし、清潔な環境を維持している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内部はバリアフリーになっており、フロア内は手すりが付いて歩行訓練も行っています。車椅子用のトイレでも出来る限りご自分で出来る事はやって頂き、転倒に注意して見守りをしています。		

事業所名	グループホーム フリージア
ユニット名	3階

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	入居者様とご家族の自己決定を尊重し、入居者様お一人おひとりを、人として尊重し、その尊厳のある生活の継続を支援致します。したい事、やりたい事を制限しない。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	毎月第一金曜日、日限山地域ケアプラザでのパンカフェへ参加しています。 地域の催しもの（お祭り等）がある時には数名で参加しています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症の方との関わり方について、実践を通じ理解や支援の方法を身につけてきているが、地域の人々に向けて何を活かしているのかは、不明である。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	「身体拘束の適正化」について、運営推進会議で取り上げ、参加者様のご意見を伺いました。大変に難しい問題であり、ミトンの使用や、ベット柵による拘束も、家族の同意を得る事が大事。そして、家族や医師との連携を密にして対応致します。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	野庭地域ケアプラザ及び日限山ケアプラザのイベント等に参加し、グループホームの空き情報及びレクレーション等をお伝えしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	認知症対応型共同生活介護の提供にあたり、事業者は契約者または他の利用者等の生命または身体を保護するため緊急やむを得ない場合を除き利用者に対し隔離、身体的拘束薬剤投与その他の方法により行動を制限しないケアに取り組んでいます。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	野庭ケアホーム、職員研修にて「虐待防止」について学び、職員一人ひとりの意識を高める様心掛けています。また、ご家族との会話等、些細な事からの「気付き」に注意を払っています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	支援までは行きませんが、日常生活自立支援事業や、成年後見制度については、日頃から勉強をしています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	重要事項説明書、及び契約事項については、ご理解を頂くまで説明し、納得頂き契約の締結を結んでおります。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご利用者様のご家族が来所された時には、近況報告も含め、ご意見やご要望をなるべく伺い、反映する様に努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月のフロア会議の他、入居者様のアセスメント等でも職員の意見を取り入れ、毎日の業務の中でも気が付いた時に随時意見を反映させております。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	努力や勤務状況は把握いたしております。そしてできる限り向上心を持てる様職場環境の整備は行っております。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	一人ひとりのケアワーカーとしての力量を見極め、必要な研修、資格の習得が出来るよう努めております。頑張っているな、とこちらが思う職員は自らスキルアップの為の研修を希望して来ます。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	2か月に1回医療及び介護に関する講師を迎え勉強会を行っております。毎回色々な事で新しい発見があります。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご家族の思いやご本人の困りごと、また、これからの意向をお聞きし、その思いに常に耳を傾け「ここで安心して生活することが出来る」と思って頂けるための関係づくりをしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の思いや意向、そして困りごとを伺い、認知症介護がどんなに大変なものなのか、同調しながら耳を傾けています。そして、入所させる不安を払拭できる様、生活状況をなるべく細かく説明しています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	皆様、不安いっぱいに入所される為、入所時はなるべくベテラン職員が対応する様にしております。ケアマネジャーも含め対応に努めております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者様の意見を尊重し、一日の中の限られた時間の中で、どれだけ相手を思いやる気持ちが持てるか、食事を一緒に取りながら会話をし、どれだけ利用者様を理解する事が出来るのかを常に考え共に過ごしている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族がいつでも来たい時に来られる、一寸の時間だけれど、顔を見て行きたくなる様な、一緒に支え合う関係になれば良いな、と思っております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	連絡が来たり、連絡を取りたいと仰る方には支援をさせて頂いておりますが、施設側から積極的な支援は致しておりません。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	殆どの方が、一日中フロアで皆様と一緒に過ごされる為、職員が一番気の使うところです。座る位置等、体調の変化にも気を配り、皆様が安心して暮らせる様に努めております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他の施設に移られた方等、面会へ伺ったり、ご家族にご様子を伺うお電話を差し上げております。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとりの希望や意向を把握する為に、その方との会話を心掛け、寄り添う気持ち持ち、職員間で知り得た事を共有する様に努めています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでの暮らしの把握が出来ないと、より良いサービスの提供は出来ないのではないかと思います。先ずはその方を知るところから始まりますので、個人ファイルにある入所前の聞き取りを熟読しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ため一人ひとりの状態を把握する為、職員間の申し送り及び、記録を行っております。皆でレクリエーションが好きな方。ゆっくりとテレビを観たい方。人それぞれですので、その方に合った一日の過ごし方を把握出来る様に努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員間でのアセスメントは行っておりますが、ご家族、その他の関係者とのカンファレンスは中々行う事が出来ず、その都度意見を収集し、ケアマネジャーに報告している次第です。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別に日々の記録を取っています。バイタル数値、食事摂取量、排泄等、職員間で情報を共有し、介護計画に活かしております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	18名それぞれの人生を歩んで来られ、生き方も考え方も多種多様です。少しでもそれぞれのご希望に沿ったサービス提供が出来る様に努めて参りたいと思います。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	歩行の安定している方には近所へのお買い物を楽しんで頂いています。ご自分でお金を支払って頂き、お買い物の楽しさを思い出して頂ければと思っています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	契約時に施設の推奨する医師とお話をして頂き、ご納得の上で訪問診療が開始となります。その後2週間毎の訪問、カンファレンスと行い適切な医療を受けられるように支援しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	2か月に1回医療及び介護に関する講師を迎え勉強会を行っております。毎回色々な事で新しい発見があります。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	身寄りのない方、生活保護の方を含め、入退院時の医療機関との連携は全て行っております。入院時にはお薬を病院へ持参し、退院時にはどの様な服用方法で戻ってきたのか、薬局との連携も図っております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に看取りについてのご意見を伺う事になりました。入所される時にご家族様は「終の棲家」と考え入所される方が殆どです。今は救急搬送する時に延命措置をするかしないか救急隊員から職員に聞かれます。その状況をご家族に説明し方針を共有していきます。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	容態急変や事故発生時に備えて、救急時の対応マニュアルを作成している。入居者様の保険証情報、連絡先及び既往歴等を記した救急対應用個人記録も作成してある。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署や業者の協力により、避難訓練を実施している。事業所内では月1回のペースで行っていきたくと考えています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員はその人その人の人格を尊重しながら言葉かけや会話を行っている。馴れ合いの言葉使いには注意をする様にしている。誇りやプライバシーの確保は居室が一人部屋の為出来ていると思う。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の生活の中で自分の思いをお話出来る環境づくりをしている。隣に座ってスキンシップ等、何気ない事だが、自分が必要とされている実感が希望に繋がると思う。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入浴の曜日や時間等、職員側だけの都合ではないですが、他の入居者様との兼ね合いを考慮するが故に、その方の希望に添えない事も多々あるのは事実ですが安全を第一に考えたいと思います。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	月に一度訪問理美容をお願いしています。カットのみならず、ヘアカラーのご希望にもお答えしています。外出時にはお好みのお洋服をきてお出掛けになられていらっしゃいます。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	厨房の方から「献立希望箱」を各フロアに設置し、皆様食べたいメニューをリクエストしていらっしゃいます。食後の後片付けも出来る方に限られてしまいますが、毎日お手伝いをお願いし、それが毎日の日課となっています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の食事摂取量や水分補給量、補給時間をお一人おひとり記録しています。栄養バランスも厨房のメニュー作成時に計算をし、その方に応じた食事形態（お粥、刻み、とろみ等）を提供しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	お食事後は必ず口腔ケアを実施しています。義歯の方は義歯を外し、ご自分で出来る方はご自分で、出来ない方は職員が義歯のお手入れをしています。嚥下機能向上及び肺炎防止の為に口腔ケアはとても大切なケアだと思っています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	お一人おひとりへの排泄のお声掛けを記録用紙を元に行っております。排泄の訴えは無くとも、そわそわ歩き出す様子が排泄のサインと言う方もいらっしゃいます。車椅子の方も立位の取れる方は便座に座って頂き、なるべくオムツを汚す事の無い様にお声掛けをしています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	一番の便秘の原因は運動不足と考え、日中出来る限り体を動かしてもらえる様、ラジオ体操やリズム体操を取り入れ、少しでも運動出来る環境を作っています。食べ物の工夫として、ヨーグルトや繊維質等も取り入れています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	曜日の指定（決まり）はありますが、本人の希望により、決まった日に入浴しなければ、他の日に変更し週に2回はなるべく入浴される様促している次第です。お一人で入られる方は、お背中を流し、お声掛けだけはさせて頂き、タイミングをみて上がって頂きます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	睡眠のタイミングは人それぞれです。今までの生活習慣等、他の入居者様と相違される方もいらっしゃいますが、夜は寝なければいけないという固定観念を外し、眠れない方とお話しをする事でその後安心して休まれる方もいらっしゃいます。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	2週間に1度訪問診療のカンファレンスが行われます。一人ひとりの最近の様子、残薬の確認及び報告を職員が行う為、常に入居者様の状態を観察し、把握しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	歌う事が好きな方、ギターを楽しむ方、字を書く事が好きな方、皆様それぞれ今まで楽しんで来た事を施設でも楽しんでいらっしゃいます。お掃除の好きな方はモップをかけたりにされています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	職員の付き添いが出来る時には、ドライブ及びお散歩を行い、ご家族が面会に来られる時には、一緒に外食等、お出掛けされていらっしゃいます。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	入居者様ご本人での金銭管理は現状難しく、月に1度のケアプラザ主催のパンカフェに参加し、パンの購入をご自身ですて頂く事や、近所へのお買い物に同行する支援をしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご自宅へ電話をされたい方には、その支援を、お手紙を受け取られたり、お書きになられたい方にはその様な支援をさせて頂いております。お孫さんのお写真付きはがきや年賀状等もとても楽しみにされています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	職員と入居者様で、季節の行事を手作りで楽しんでいます。1月はお正月のお飾り（鏡餅等）2月は節分（鬼等）3月はひな祭りのお雛様作りといった感じで季節の移り変わりを楽しんでいます。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一日の過ごし方は皆様それぞれです。フロアで皆さんと一緒にお喋りを楽しまれる方、テレビを観られる方、自室で一人でゆっくりとテレビを観られる方、ご自分のペースでお過ごし頂いております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所前からご家族の方とお話合いになられ、どのテーブルを持ってこようか、本棚、サイドボード等悩まれている時には一番大切なもの、一番ご自分の生活を思い出せる様なものにしてはいかがですか。とお話ししています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内部はバリアフリーになっており、フロア内は手すりが付いて歩行訓練も行っています。車椅子用のトイレでも出来る限りご自分で出来る事はやって頂き、転倒に注意して見守りをしています。		

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム フリージア

作成日 令和 2 年 4 月 13 日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	29	<p>施設から外に出ない（出ようとしない）為、ご近所の方との接触が殆ど無いに等しい状況です。</p> <p>①施設の前が坂道という事もあり一人の職員が数人を連れて外出する事が困難である。</p> <p>②外へ出るという行為が中々理解出来ず、外出するまでに時間が掛かってしまう。</p> <p>③認知症が故に知らない場所へ行くという恐怖心が生まれてしまう。</p> <p>④外出する方はいつも決まった方になってしまう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・お一人様、1週間に1回は外出する機会を作る。 ・外出を日課にする 	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行の不安定な方は普段から、マシントレーニングを行い下肢筋力の強化に努める。 ・安心して外出が出来る様、職員との信頼関係を構築する。 ・職員との信頼関係構築の為の会話を先ず勉強する。（一人ひとりのアセスメントを読み直す） ・職員の声掛けで外出出来る様になる！！ 	<p>4/1～4/30</p> <p>4/1～4/30</p> <p>4/10～4/30</p> <p>4/1～5/30</p>
2	26	<p>介護計画は6ヶ月毎に見直し、その為のモニタリングも行っているが、目標達成までの道のりが遠い。</p>	<p>短期目標、長期目標を明確化する為に、本人、ご家族、担当職員全員で現況を知り、アイデアを出し合う。</p>	<p>実施記録表に目標項目を明確にし、その目標が妥当なのか、しっかりと実施されているか、カンファレンスを行うと共に、記録をとる。</p>	5/1～10/31
3					
4					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。